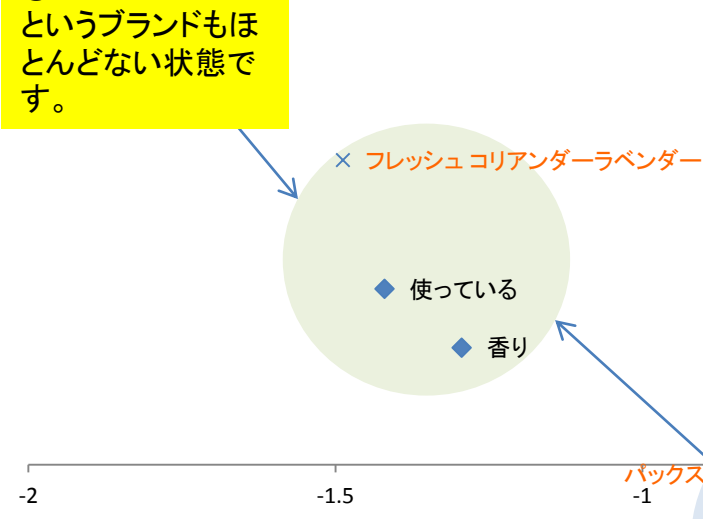


高級系石鹸ブランドのキーワードの分析をしました。

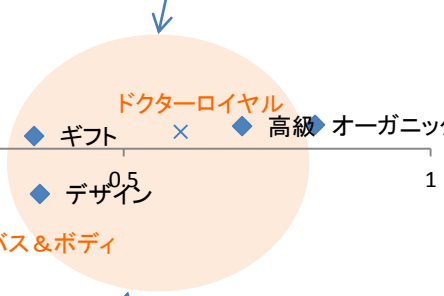
第1軸 × 第2軸

①香りで使っているというブランドもほとんどない状態です。

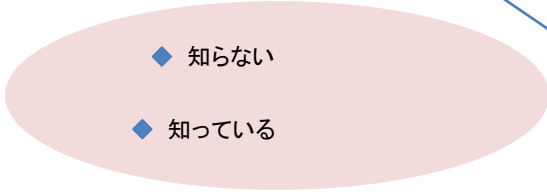
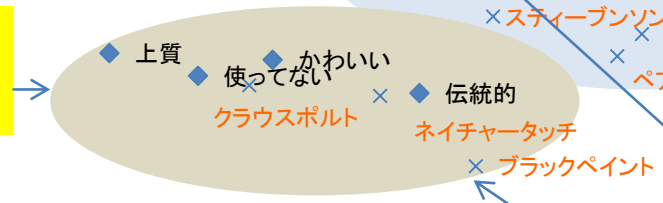


ほとんどのブランドが①②③のイメージのバランスをとるブランド戦略なのかもしれません。十分な差別化がまだ未発達ということです。

③オーガニック・高級・デザイン・ギフトと相関性の高いブランドもごく少ないです。



②上質・伝統的・かわいいのブランドもほんの少数です。



①②③のように全く対極的にブランドが分かれることは差別化ができるための必須要素です。ただその中でギフト・デザイン・高級・上質などのキーワードは差別化ではなく共通的なキーワードだと考えられます。現在は少数の小規模のブランドが混在している状態でまだそれほど戦略的に攻め切れていないマーケットなのです。今スタートラインに立ったところということでしょうか。

こういう状態のグラフが出るということはまだほとんどの方が知ってる知らない以前の問題ということでしょう。ども未だブランディングできていないと思われます。

第2軸

第1軸